

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・都会の景気は良くなっているそうなので、地方も徐々に回復して欲しい。
		商店街（事務局長）	・株高、企業の好成績が続けば夏に向けて景気は上向くとみている。プレミアム付商品券の発行を起爆剤として地方の消費も上向くのではないかと期待している。
		スーパー（財務担当）	・賃金上昇やボーナス増、株高が、消費者心理を改善する。
		コンビニ（店長）	・出勤前と昼食需要が増加している。客から仕事が忙しい様子がうかがえる。
		衣料品専門店（経営者）	・現状での客の動きは決して良くないが、3か月後には良くなってほしい。
		衣料品専門店（経営者）	・身近で賃上げの話は聞かないが、大企業は賃上げもあり、全国的にムードは良くなっているのではないかと。
		乗用車販売店（役員）	・7月以降に新型車の投入等があることから、それ以降は受注が増えると期待している。
		住関連専門店（経営者）	・株高や賃金の上昇と、ガソリン・灯油の値下がりが続いているので、そろそろ消費が上向くのではないかと期待している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・8月までは暑いことから、飲料が売れ、景気は良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・高単価品の動きが少しずつ良くなっているため、景気も少し上向くと期待したい。
		タクシー運転手	・2～3か月先は梅雨に入るため、客の利用も多くなると期待している。
		通信会社（営業担当）	・新商品の発売が予定されており、需要が高まると想定している。
		通信会社（営業担当）	・夏商戦期を迎え、買換え需要が高まる。
		通信会社（支店長）	・シニア向けの新サービスや夏商戦向けの新商品も発表予定であることから、景気浮揚に貢献できればと考えている。
		通信会社（企画）	・現在も引き続き反応がいい状態にある。
		設計事務所（所長）	・市内中心部の空き地に、少しずつ建物が建ち始めている。
		住宅販売会社（従業員）	・来客数が増えているので、受注高は増加すると考えられる。
		変わらない	商店街（代表者）
	商店街（代表者）		・商店街の小売店は厳しい状況が続いている。製造業を中心に若干だが、給料の上昇も望めるような状況になっている。消費が多少なりとも上昇することを期待したい。
一般小売店〔文具店〕（経営者）	・客の来店動向から推察しても、上向きになる要素は見当たらない。		
一般小売店〔生花〕（経営者）	・個人消費は以前と変わっていない。予約も手頃な商品に人気が集り、高額商品はあまり動かない。		
一般小売店〔酒〕（販売担当）	・今月下旬からプレミアム付商品券が出回るので、地域活性化の面では良いかもしれないが、取扱いをしていない店舗では無関係のようである。		
百貨店（営業担当）	・前年は消費税増税の影響が5月以降も残った。売上は前々年比でプラスになってきたが、今後の状況は見通せない。		
百貨店（販売促進担当）	・消費税増税から1年が経過し、食品やデイリー商材の売上は回復したが、主軸の衣料品や高額品の回復が遅れている。		
スーパー（企画担当）	・値上げで単価は上昇しているが、来店客数の伸びがみられないため厳しい状況が続く。		
コンビニ（店長）	・地方の中小企業は賃金が増える兆しはないと聞く。		
コンビニ（総務）	・気温や天候に大きく左右されるが、景気が良くなっている動きは全く見えない。		
衣料品専門店（経営者）	・急に悪くなるとは思わない。		
衣料品専門店（総務担当）	・今月から地方公務員給与が上がるので、店舗によっては売上がプラスに働くと期待できるが、それ以外に景気の良い話はない。		
家電量販店（店員）	・例年、夏のボーナス支給までは閑散期が続く。4月は、消費税増税の反動で大きく減少した昨年と同様な落ち込みとなっている。5～6月も引き続き厳しいとみている。		
乗用車販売店（従業員）	・即日完売したプレミアム付商品券が、消費全体のボリュームアップにどれだけ貢献したかは、結果を検証してみないと分からない。		
乗用車販売店（従業員）	・最近では新型車効果がなく、販売増や来場者増が見込めない。新型車発売月も他の月とあまり変わらない動きとなっている。		

		乗用車販売店（従業員）	・景気が良いとは思えないが、商品力に助けられている。	
		乗用車販売店（営業担当）	・昨年の消費税増税による反動減と同じ状況になっている。	
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・プレミアム付き商品券効果もあり、この状況はしばらく続くだろう。	
		観光型旅館（経営者）	・6～7月の予約状況はあまり良くない。	
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況は芳しくない。しばらくは現状と変わらない。	
		旅行代理店（支店長）	・北陸新幹線効果等で国内旅行需要は堅調であるが、海外旅行需要の回復の兆しはみえない。	
		観光遊園地（職員）	・円高と株価下落がいつ始まるか、不安になる。	
		ゴルフ場（従業員）	・良くなる時期に入るが、予約状況をみると入場者数は不安定で良くない。	
		競艇場（職員）	・5月は、ゴールデンウィークレース、周年記念レースの開催で売上増加を見込んでいるが、6～7月は大きなレースがなく、本場開催日も少ないため、期待できない。	
		美容室（経営者）	・消費マインドが相変わらず低い。	
	やや悪くなる	スーパー（統括担当）	・消費税率10%への引上げが予定されているうえ、物価も上昇していることから、個人消費は冷え込んでいく。	
		スナック（経営者）	・連休や農繁期に入るため、客の減少は避けられない。	
		その他飲食〔ファストフード〕（経営者）	・5～6月は低調な月である。	
		美容室（経営者）	・よい対策がみつからない。	
	悪くなる	タクシー運転手	・乗客の大部分をお遍路関連が占めており、これから暑くなる仕事は減る。街中での乗客も減少基調にあり、景気は悪くなるだろう。	
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	食料品製造業（商品統括） 繊維工業（経営者）	・とにかく人が集まらず生産調整が必要な状況が食品業界にもあり、給与アップによる人材確保が必須となりつつある。 ・景気上昇が全般的にみられ、消費マインドが上向いている。消費者は高くても良いものを求める動きがあり、しばらくはこの状況が続くとみている。	
	やや良くなる	木材木製品製造業	・受注環境は改善されている。良質な住宅への金利優遇や国の施策も充実しており、期待は持てる。	
		輸送業（経営者）	・株価2万円前後の安定化が期待できる。	
	変わらない	農林水産業（総務担当）	・単価高が続くと発注量の抑制が心配される。	
		食料品製造業（経営者）	・原材料は海外仕入れが多いため、円安の影響で値上がりしているが、価格に十分転嫁できない。	
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・為替に変化がなければ、売上も利益も変わらない。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・原油価格の下落、欧州債務問題、地政学的リスク等が懸念されるが、当面大きな変化はないと思われる。	
		電気機械器具製造業（経理）	・得意先からの受注量に特段の上向き傾向は見られず、先行きに大きな変化が生じる材料もない。	
		建設会社（経理担当）	・繰り越し工事はあるものの、新規工事は営繕工事のみで、景気は変わらない。	
		建設業（経営者）	・官民とも、工事拡大は期待できない。	
		輸送業（支店長）	・円安は、輸入が多い徳島港にとってはデメリット。この流れは当面続くだろう。	
		輸送業（営業）	・大型連休中に出費がかさんだ分、消費者の購買意欲は低下する。景気が低迷する中、一時的なイベントに対する消費拡大が見込めても、日常的な消費支出の継続にはつながらない。	
		金融業（副支店長）	・売上は確保できても利益率が悪く、景気が良くなる気配はない。	
		広告代理店（経営者）	・売上が回復すると予想している得意先も一部にあるが、多くは販促予算の削減あるいは現状維持になるのではないかと。	
		公認会計士	・設備投資に関してはやや消極的である。また、ホテル関係の経営者から、外国人宿泊客が増えているが、客単価は下落しているというような意見がある。	
		やや悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・受注量と生産量は順調であるが、国内鋳鋼品メーカー全体は生産量が落ちており、受注価格が下降傾向にある。
			建設業（経営者）	・向こう3か月は受注工事が減少すると見込んでいる。新規受注がどの程度入るか分からない。当面厳しい状況が続く。
	悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・ゴールデンウィークや夏休みなど、レジャー・観光などで景気浮揚が期待される。	

(四国)	求人情報誌（営業）	・県内企業が新卒採用に注力しており、新卒、中途採用なども含めた採用活動を活発に行うことが予想される。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・長く続いた消費マインドの冷え込みもひと段落したのではないかと。消費税率を10%に上げるまでに利益を確保したい企業が積極的な販促活動に転じるとみている。
	職業安定所（職員）	・多くの企業で、新規採用、中途採用による雇用者増加の動きがみられる。
	民間職業紹介機関（所長）	・全般的には景気が良くなる。ただし、業種間または同業種でも景況感は異なっているため、今後格差が生じるだろう。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・年度が替わり、採用活動に一部鈍化がみられる。
	求人情報誌製作会社（従業員）	・4月は求人数が多いが、2～3か月後はある程度の落ち着きが予想される。
	職業安定所（職員）	・新規求職者数は減少を続けている。労働者の移動は抑えられており、また正社員化も進んでいない。
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・雇用の陰りが見受けられる。
悪くなる	-	-